

## 「行革甲子園 2018」エントリーシート

### 【取組の内容】

#### 1 取組事例名

地域の足を住民自らで確保！とよねがんばらマイカー事業

#### 2 取組期間

平成 16 年度～（継続中）

#### 3 取組概要

鉄道や民間バスやタクシー事業者がない豊根村において、高齢者などの交通弱者の移動をサポートするため、住民ボランティアを運転手として登録し、登録された運転手が自家用車を使用し、最寄りの公共交通機関や通院、買い物、その他日常生活に必要な移動サービスを提供するシステムの構築。

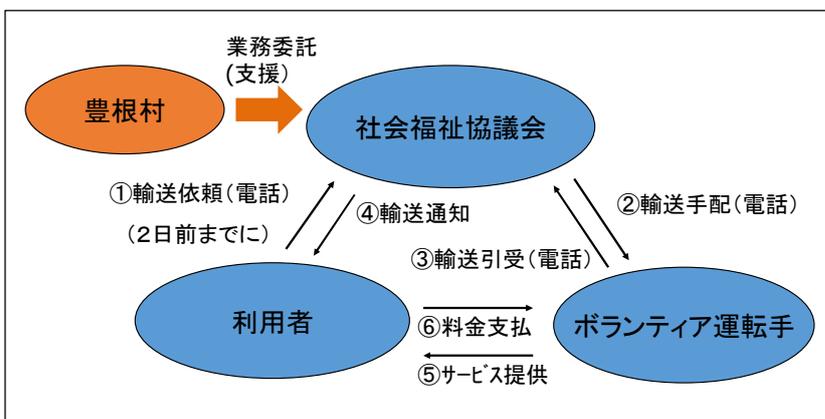
多様化する住民ニーズに対応した輸送サービスを効率的に確保した。

## 4 背景・目的

- 山間地域に位置し、少子高齢化が早くから進んだ愛知県豊根村（人口 1136 人：H27 国勢調査）では、民間の公共交通事業者がすべて撤退するとともにタクシー事業者もなく、高齢者を中心とした移動手段の確保が課題となっていた。基幹集落を結ぶ路線は村営バスの運行で住民の足を確保しているが、土日運休であることや、40 集落が広範囲に点在することからすべての集落をカバーすることができないとともに、細かなバス路線の運営は、大きな財政負担となるため実現できない状況にあった。
- 高齢化の進展が今後加速することが予測される中、公共交通の空白地となる集落の住民の足の確保が課題であった。
- 豊根村には、民間バス事業者やタクシー事業者がなく、近隣の鉄道駅までは最低でも 20km 以上離れている。また、通院や買い物などの拠点施設が村内になく、高度医療体制の広域化や買い物ニーズの多様化から近隣自治体へ住民が赴く必要性が頻繁となっており、自治体範囲を超えた移動手段の確保が必要となっていた。
- そうした状況を踏まえ、住民生活に必要な不可欠な移動手段の確保を住民協働により低コストで実現するため、行政が民間団体に提案し、支援を行って取組みを実施した。

## 5 取組の具体的内容

- 名称： とよねがんばらマイカー事業
- 事業主体： 豊根村社会福祉協議会（旧 豊根村シルバー人材センター）  
※豊根村役場が業務委託。現在は事務経費を支援。
- 取り組み： 鉄道や民間バスやタクシー事業者がない豊根村において、高齢者などの交通弱者の移動をサポートするため、住民ボランティアを運転手として登録し、登録された運転手が自家用車を使用し、最寄りの公共交通機関や通院、買い物、その他日常生活に必要な移動サービスを提供するシステム。
- 利用方法：
  - 1 利用希望者は事前に登録。（利用希望登録者数 527 人）
  - 2 利用希望の 2 日前までに電話予約。ボランティア運転手が見つければ予約成立。
  - 3 ボランティア運転手が指定場所に行き、送迎。
  - 4 ボランティア運転手に実費相当分を運賃として支払い。
- 運転手： 指定講習を修了したボランティア住民を運転手として登録。（現在 35 名）  
自動車任意保険にボランティアが自ら加入していることが条件。



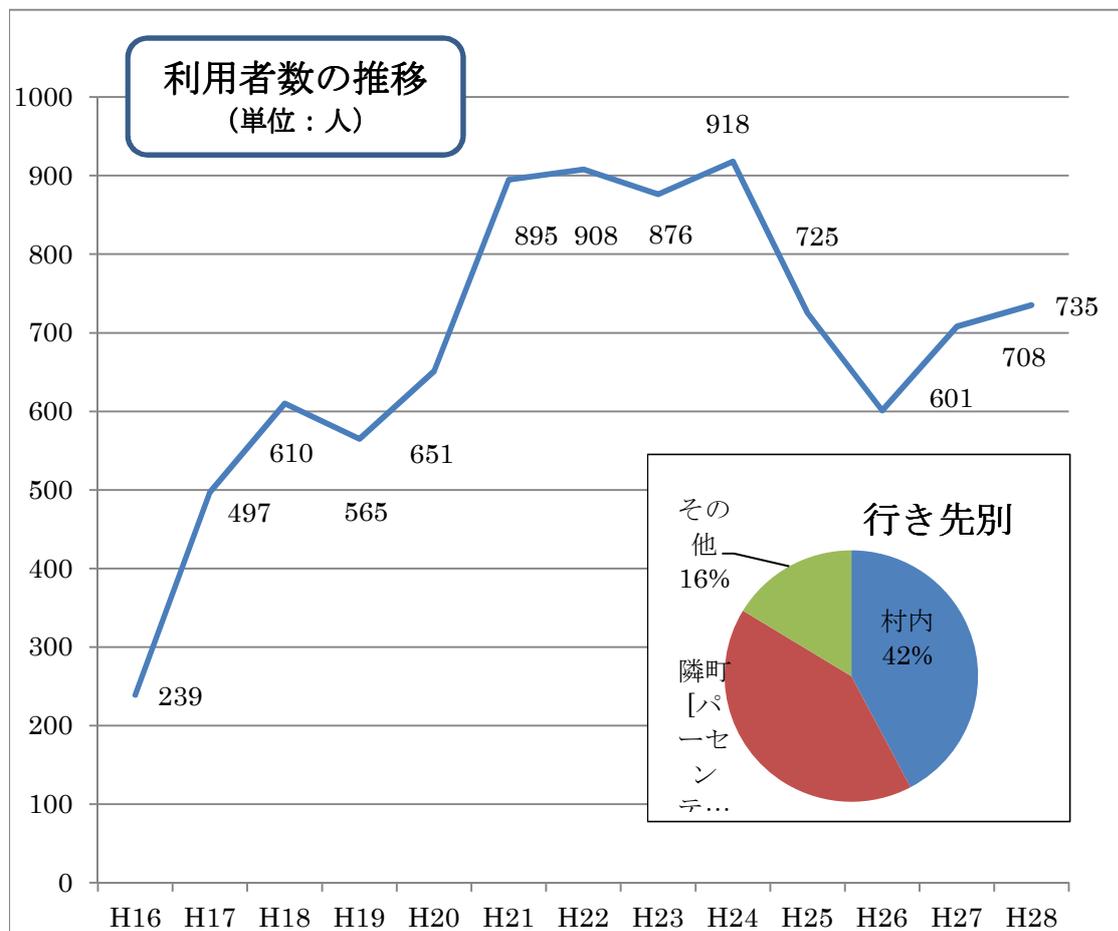
## 6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・ 自家用車の利用を可能とするため、自家用車の有償運送許可を平成 15 年 11 月に構造改革特区認定を受けることでクリアした。全国でも初めての取組み。
- ・ 広範囲に点在する集落をすべてカバーするため、住民自らがボランティアとして取り組めるシステムとして構築した。
- ・ 自家用車利用を可能としたことで、運行管理簡素化やコスト低減を実現。
- ・ 利用者も顔が見える運転手が迎えに来ることから、安心して利用が可能。
- ・ 運転手講習を実施し、運転技能の確保を図った。

## 7 取組の効果・費用

- ・ 事業実施により、現在、700 回を超える運行を行っており、13 年間の取組みにより、住民生活に欠かせない交通手段として定着した。
- ・ 民間事業者がないため、住民ニーズの多様化に対応した公共交通による輸送サービスを行政が提供することは限界があったが、行政として最小限の経費で、住民ニーズに柔軟に対応できる仕組みづくりができた。
- ・ 事業実施における事務経費のみを行政が負担。（年間 約 50 万円）  
運行経費（年間 約 200 万円）は、利用者の負担。

### 【事業実績】



## 8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・ 自家用車による有償運送を構造改革特区の認定を受けることで実現可能とした。
- ・ 行政が公的にサービスを提供することは限界があるため、住民の理解と協力を得られるよう、説明会や運転講習を繰り返し開催して、理解に努めた。
- ・ 当初、1回1,000円の一律で実施したが、運行している中で、行き先の多様化が進み、長距離や長時間に及ぶ輸送が増加したことから、料金制度を距離制+時間制に利用者の理解を得て随時見直しを行っている。

## 9 今後の予定・構想

- ・ 事業としての定着が図られたことから、このサービスを維持していくとともに、村営バスを含めた豊根村における公共交通全体の一層の効率化につながるようシステムを検討していく。

## 10 他団体へのアドバイス

- ・ 現在、構想改革特区認定を受けた自家用有償運送は、全国展開されており、構造改革特区認定を受けなくても事業可能である。
- ・ 顔が見える仕組みづくりが事業全体の安心感につながり、利用者の増加が得られた。

## 11 取組について記載したホームページ